

三菱電機 **ビル・店舗用**
エアコン別売部品
高湿度対応キット

形名

PAC-KG51HK

PAC-KG52HK

PAC-KG53HK

取付説明書（販売店・工事店様用）

もくじ

安全のために必ず守ること	2
1. 使用部品	4
1-1. 同梱部品	4
2. 使用箇所	5
2-1. 取付け時の外観	5
2-2. 適用機種	5
3. 取付要領	6
3-1. 室内ユニットフランジ面への取付け	6
3-2. 室内ユニット側面への取付け	6
3-3. 室内ユニット配管面への取付け	8
3-4. 室内ユニット反配管面への取付け	9
3-5. 室内ユニット天面への取付け	10
3-6. ドレンソケット、配管カバー部の防露	11
4. 取付工事後の確認	12
5. お客様への説明	12

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

- この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

警告

改造はしないこと。

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



注意

改造はしないこと。

- ◆水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆けがのおそれあり。



パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



作業するときは保護具を身につけること。

- ◆けがのおそれあり。



運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



据付工事をするときに

警告

梱包材は破棄すること。

- ◆窒息事故のおそれあり。



注意

販売店または専門業者が取付説明書に従って取付工事を行うこと。

- ◆ 水漏れ・けが・感電・故障・火災のおそれあり。



移設・修理をするときに

警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



1. 使用部品

1-1. 同梱部品

下記部品が同梱されています。

各部の形状は、断熱材側（剥離紙の反対側）から見た形状です。各部品の剥離紙に番号が記載されていますので、確認して下さい。

(サイズの単位：mm)

名称	① フランジ断熱材	② フランジ断熱材	③ フランジ断熱材	④ フランジ断熱材	⑤ フランジ断熱材	⑥ 右側面断熱材
個数	1	1	1	1	1	51・52形のみ：1
形状		 サイズ 112 × 18				 サイズ 768 × 290
名称	⑦ 左側面断熱材	⑧ 側面断熱材	⑨ 右側面断熱材	⑩ 右側面断熱材	⑪ 左側面断熱材	⑫ 左側面断熱材
個数	51・52形のみ：1	52形のみ：2	53形のみ：1	53形のみ：1	53形のみ：1	53形のみ：1
形状	 サイズ 768 × 290	 サイズ 290 × 170	 サイズ 719 × 331	 サイズ 719 × 331	 サイズ 719 × 331	 サイズ 719 × 331
名称	⑬ 配管面断熱材	⑭ 配管面断熱材	⑮ 配管面断熱材	⑯ 右吊金具断熱材	⑰ 左吊金具断熱材	⑱ (反) 配管面断熱材
個数	1	1	1	2	2	53形のみ：2
形状						 サイズ 660 × 40
名称	⑲ 反配管面断熱材	⑳ 天面断熱材	㉑ 天面断熱材	㉒ 天面断熱材	㉓ ソケット断熱材	㉔ 配管カバー断熱材
個数	1	2	52形のみ：1	53形のみ：2	2	1
形状		 サイズ 780 × 330	 サイズ 660 × 170	 サイズ 670 × 330		 サイズ 200 × 40
名称	㉕ 予備断熱材	㉖ 予備断熱材				
個数	1	1				
形状	 サイズ 300 × 300	 サイズ 100 × 100				

2. 使用箇所

2-1. 取付け時の外観

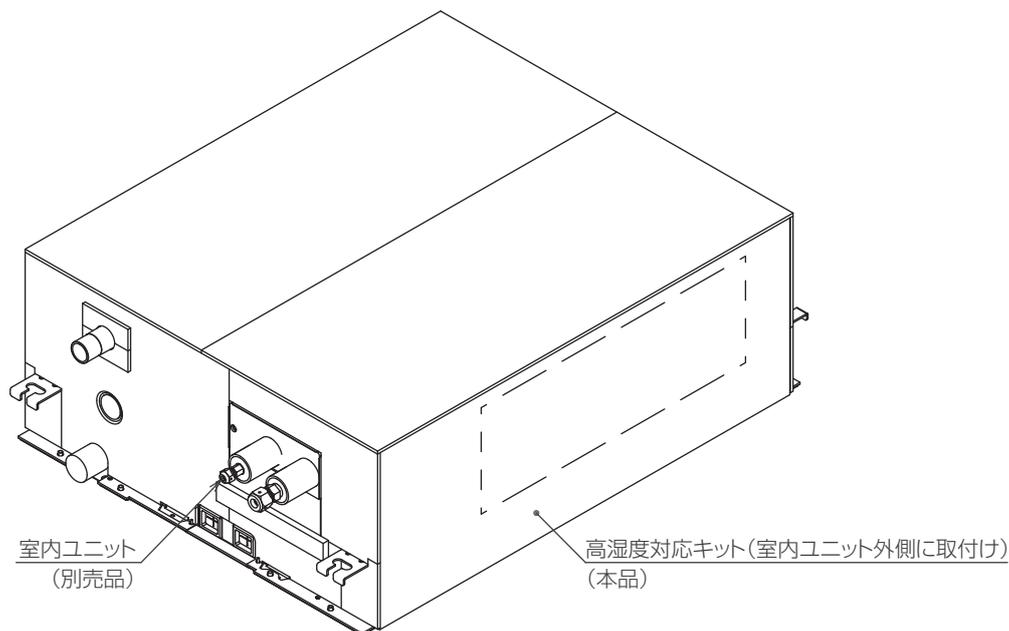


図 1

2-2. 適用機種

お願い

- 適用機種を確認し、取付け間違いのないようにお願いします。

形名	適用機種
PAC-KG51HK	PLFY-P22,28,36,45LMG4 以降 PL-RP40LA13 以降
PAC-KG52HK	PLFY-P56,71LMG4 以降 PL-RP45,50,56,63,71,81LA13 以降
PAC-KG53HK	PLFY-P80,90,112,140LMG4 以降 PL-RP112,140,160LA13 以降

- 本製品は下記別売部品との組合せには対応していません。誤使用のないようにお願いします。

別売部品名	形名
加湿器	PAC-KG16,18HUL、PAC-KW16,18HUL
	PAC-KG26,28HUR、PAC-KW26,28HUR
多機能ケースメント	PAC-KG77,78,79TB、PAC-KW77,78,79TB
スペーサー	PAC-KG85,86,87TB、PAC-KW85,86,87TB
外気取入ダクトフランジ	PAC-KG110F

3. 取付要領

お願い

- ・ 取付けは室内ユニットを吊り下げる前に行ってください。据付後の取付けは、難作業となります。
- ・ 取付け前に取付位置・形状・断熱材番号を必ず確認してください。
- ・ 各断熱材はすき間が無いように取付けてください。
- ・ 取付けの際にすき間・破れなどが発生した場合は、予備 ㉔、㉕ を任意の大きさに切断し、取付けてください。

3-1. 室内ユニットフランジ面への取付け

手順

1. 室内ユニット配管側のフランジ面に断熱材 ①～④ を取付けます。(図2)
2. 室内ユニット反配管側のフランジ面に断熱材 ⑤ を取付けます。(図3)

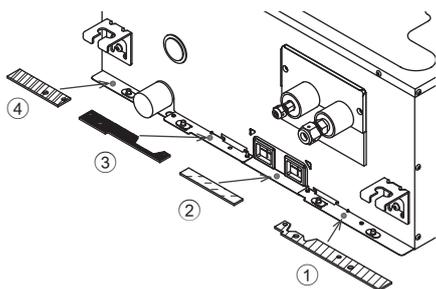


図 2

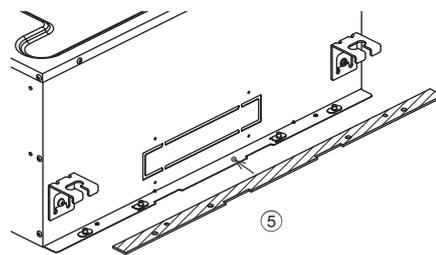


図 3

3-2. 室内ユニット側面への取付け

お願い

- ・ 高湿度対応キット形名により、取付け仕様が異なります。キット形名を確認の上、下記要領で取付けてください。
- ・ 分ダクトを接続する場合、取付け前に接続面の断熱材をスリットに沿って切り取ってください。
分ダクトフランジサイズは切り取る断熱材サイズ以下の物をご用意ください。
分ダクト接続後には、ダクト及び接続フランジ部に十分な断熱施工をしてください。

[1] PAC-KG51HK の場合

手順

1. 室内ユニット配管側から見て右側板に断熱材 ⑥ を取付けます。(図 4、図 5)
2. 室内ユニット配管側から見て左側板に断熱材 ⑦ を取付けます。(図 4、図 6)

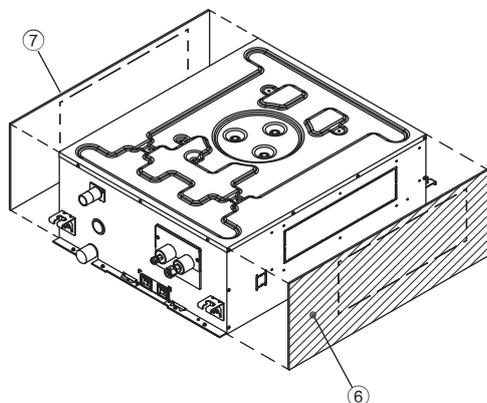


図 4

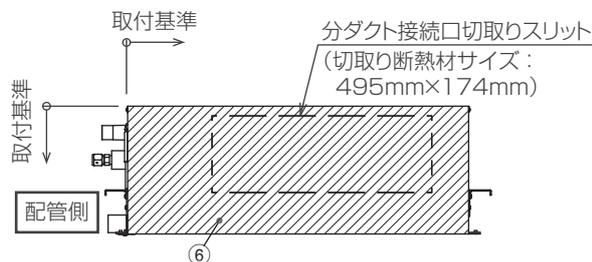


図 5

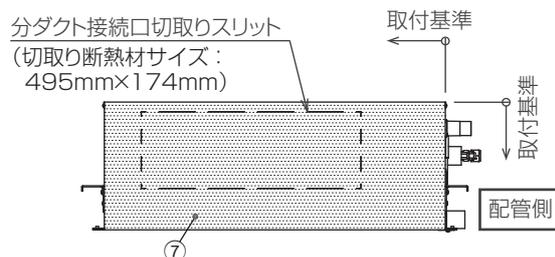


図 6

[2] PAC-KG52HK の場合

手順

1. 室内ユニット配管側から見て右側板に断熱材⑥、⑧を取付けます。(図7、図8)
2. 室内ユニット配管側から見て左側板に断熱材⑦、⑧を取付けます。(図7、図9)

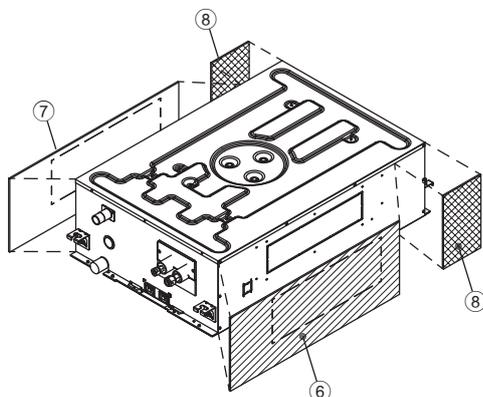


図7

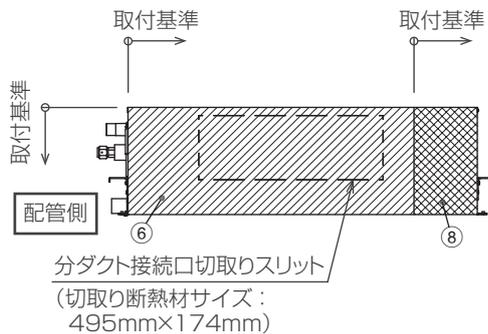


図8

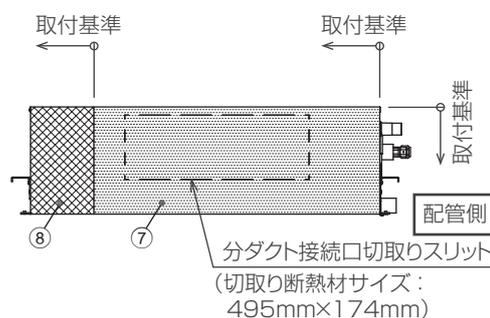


図9

[3] PAC-KG53HK の場合

手順

1. 室内ユニット配管側から見て右側板に断熱材⑨、⑩を取付けます。(図10、図11)
2. 室内ユニット配管側から見て左側板に断熱材⑪、⑫を取付けます。(図10、図12)

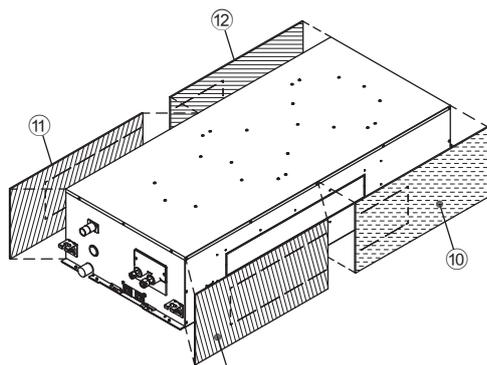


図10

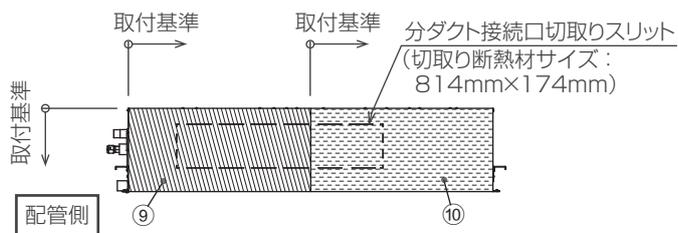


図11

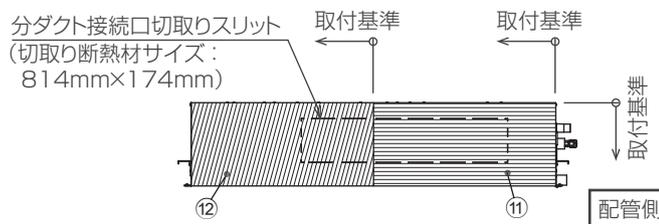


図12

3-3. 室内ユニット配管面への取付け

お願い

高湿度対応キット形名により、取付け仕様が異なります。キット形名を確認の上、下記要領で取付けてください。

[1] PAC-KG51、52HK の場合

手順

1. 室内ユニットの配管面に断熱材 ⑬ → ⑭ → ⑮ の順に取付けます。(図 13、図 14)
3-2. で取付けた側面断熱材にラップさせて取付けてください。
2. 吊金具部に断熱材 ⑯、⑰ を取付けます。(図 13、図 14)

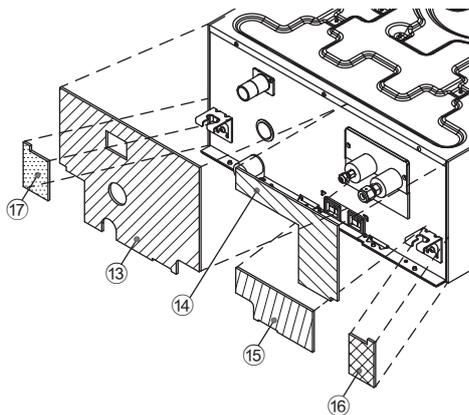


図 13

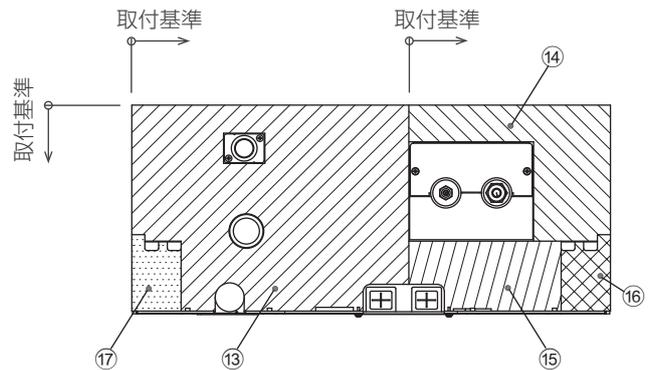


図 14

[2] PAC-KG53HK の場合

手順

1. 室内ユニットの配管面に断熱材 ⑱ を取付けます。(図 15、図 16)
3-2. で取付けた側面断熱材にラップさせて取付けてください。
2. 断熱材 ⑱ の端面に合わせ、断熱材 ⑬ → ⑭ → ⑮ の順に取付けます。(図 15、図 16)
3. 吊金具部に断熱材 ⑯、⑰ を取付けます。(図 15、図 16)

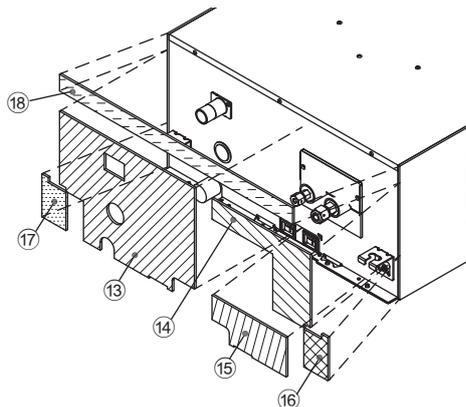


図 15

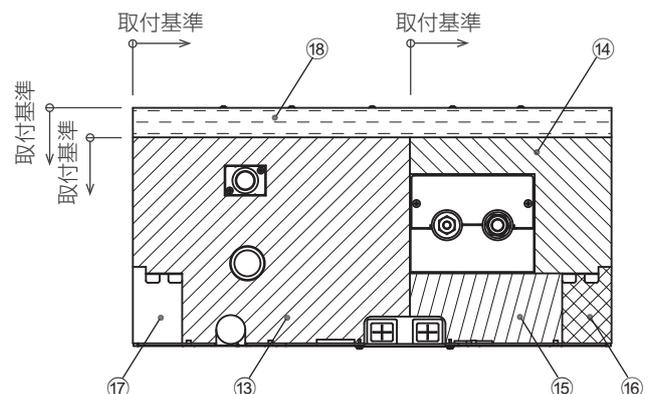


図 16

3-4. 室内ユニット反配管面への取付け

お願い

高湿度対応キット形名により、取付け仕様が異なります。キット形名を確認の上、下記要領で取付けてください。

[1] PAC-KG51、52HK の場合

手順

1. 室内ユニットの反配管面に断熱材 ⑱ を取付けます。(図 17、図 18)
3-2. で取付けた側面断熱材にラップさせて取付けてください。
2. 吊金具部に断熱材 ⑯、⑰ を取付けます。(図 17、図 18)

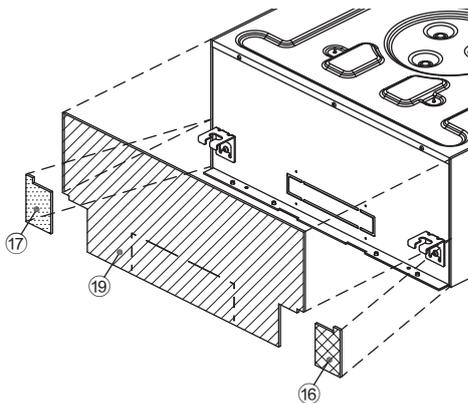


図 17

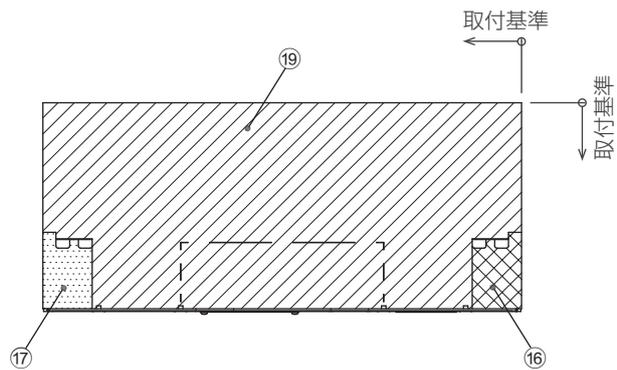


図 18

[2] PAC-KG53HK の場合

手順

1. 室内ユニットの反配管面に断熱材 ⑯ を取付けます。(図 19、図 20)
3-2. で取付けた側面断熱材にラップさせて取付けてください。
2. 断熱材 ⑯ の端面に合わせ、断熱材 ⑱ を取付けます。(図 19、図 20)
3. 吊金具部に断熱材 ⑯、⑰ を取付けます。(図 19、図 20)

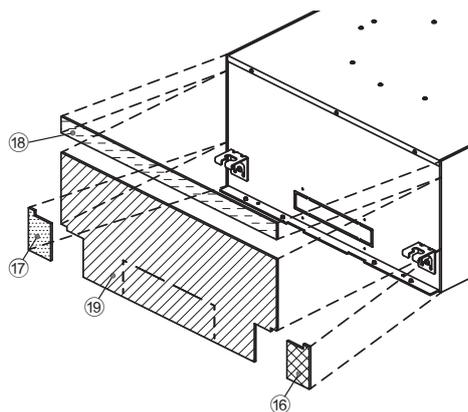


図 19

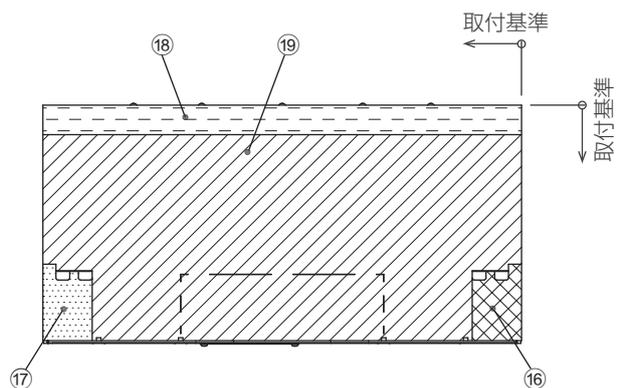


図 20

3-5. 室内ユニット天面への取付け

お願い

高湿度対応キット形名により、取付け仕様が異なります。キット形名を確認の上、下記要領で取付けてください。

[1] PAC-KG51HK の場合

手順

1. 室内ユニットの天面に断熱材 ⑳ を取付けます。(図 21、図 22)
3-3.、3-4. で取付けた断熱材にラップさせて取付けてください。

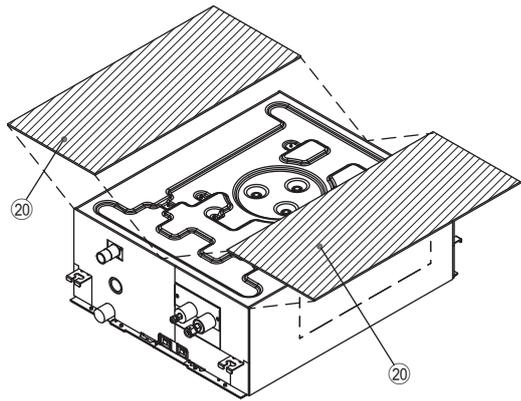


図 21

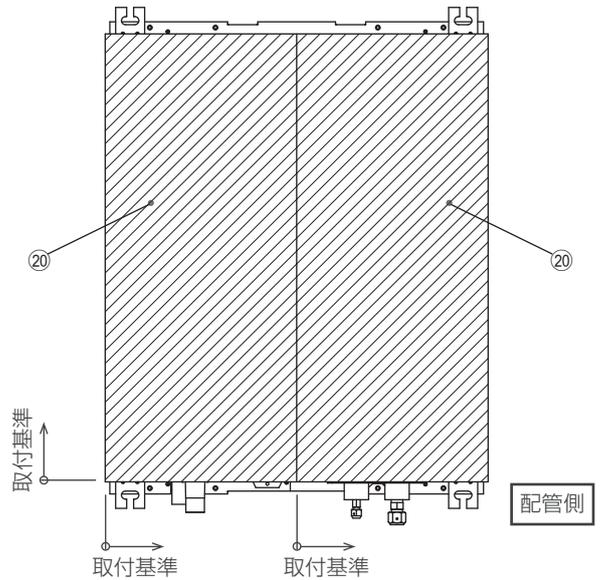


図 22

[2] PAC-KG52HK の場合

手順

1. 室内ユニットの天面に断熱材 ⑳ を取付けます。(図 23、図 24)
3-3.、3-4. で取付けた断熱材にラップさせて取付けてください。
2. 断熱材 ⑳ の端面に合わせ、すき間が出来ないように断熱材 ㉑ を取付けます。(図 23、図 24)

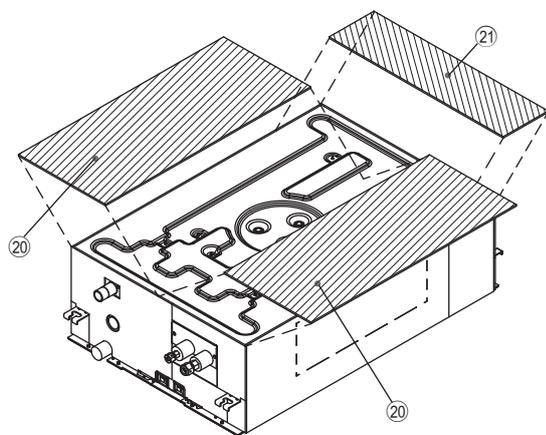


図 23

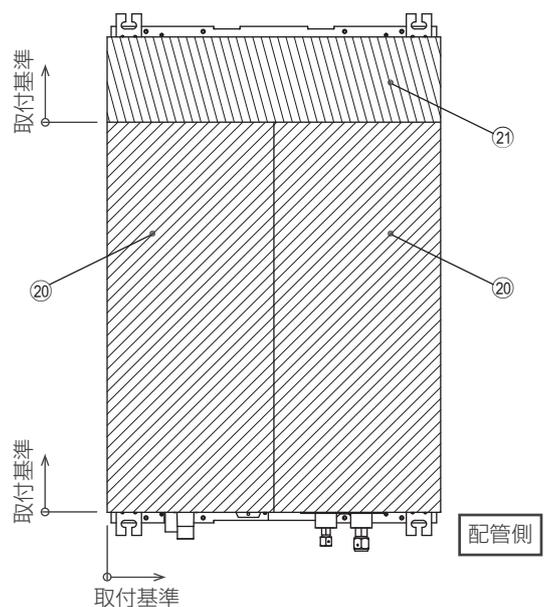


図 24

[3] PAC-KG53HK の場合

手順

1. 室内ユニットの反配管面に断熱材 ⑳ を取付けます。(図 25、図 26)
3-3、3-4. で取付けた断熱材にラップさせて取付けてください。
2. 断熱材 ㉑ の端面に合わせ、すき間が出来ないように断熱材 ㉑ を取付けます。(図 25、図 26)

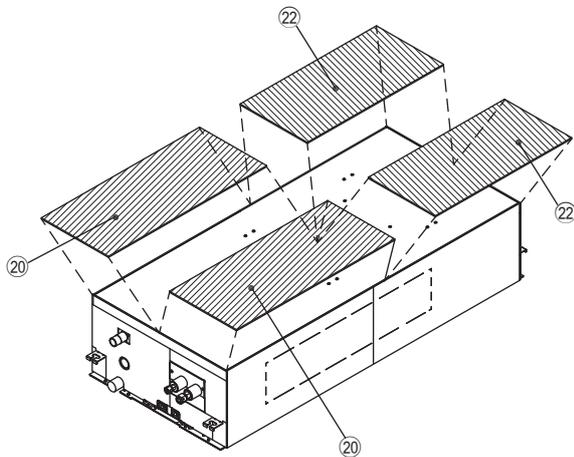


図 25

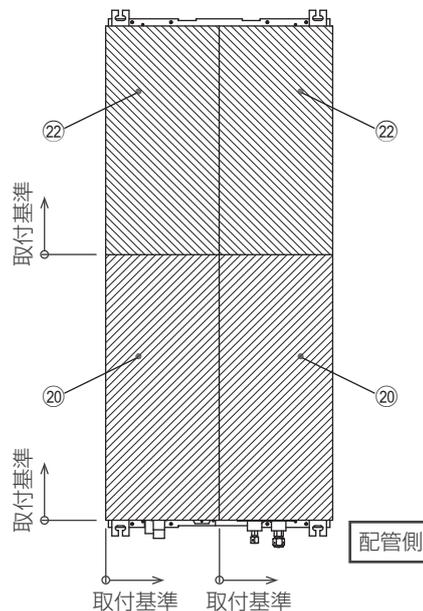


図 26

3-6. ドレンソケット、配管カバー部の防露

手順

1. ドレンソケット部に断熱材 ㉓ を取付けます。(図 27、図 28)
ソケット外形に合わせ、挟み込んで取付けてください。
2. 配管カバー下部に断熱材 ㉔ を取付けます。(図 27、図 29)
上端は配管カバー端面に合わせ、左右は均等にカバー幅から突き出るように取付けてください。

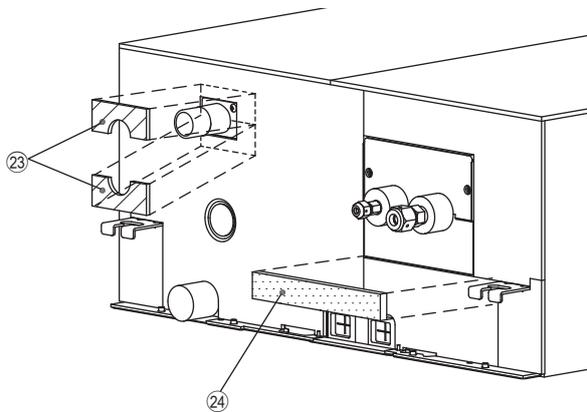


図 27

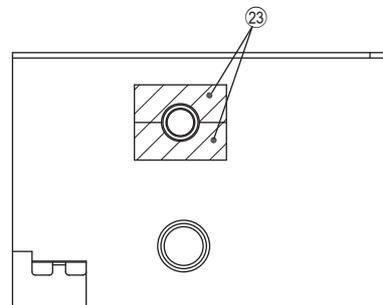


図 28

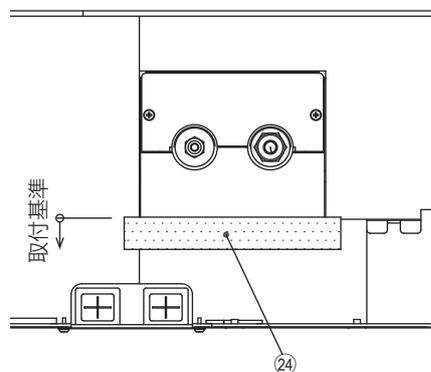


図 29

4. 取付工事後の確認

取付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

No.	チェック項目	チェック欄
1	断熱材同士すき間無く取付けられていることを確認してください。	
2	断熱材にやぶれや損傷が無いことを確認してください。	
3	取付け後に作業にもれがないかもう一度確認してください。	

5. お客様への説明

- お使いになる方に正しい使い方をご説明ください。
お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- 「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この取付説明書は、取付け後、お使いになる方にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合、この取付説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT08120X02